

フローンファイラー

コテ用・ローラー用

防水材、床材の下地調整エキスパート。

	コテ用	ローラー用
特 長	1. タール、ピッチ除去後の下地処理に優れています。 2. 旧塗膜に対する密着性に優れています。	1. 特殊骨材の配合で、レベリング性を向上、ローラー施工の作業性に優れています。 2. 旧塗膜に対する密着性に優れています。
用 途	1. 防水シート層、除去後の下地調整。 2. Pタイルなどの貼り床材、除去後の下地調整。 3. コンクリート、モルタルの素地調整、不陸調整。	1. 塗り替え時の旧塗膜の下地調整。 2. コンクリート、モルタルの素地調整、不陸調整。

※刷毛引き仕上げのコンクリート面に施工する際は、当社までお問い合わせ下さい。

■容量・荷姿・塗装面積

品 名	荷 姿	容 量			塗 装 面 積
		主 剤	パウダー	硬化剤	
フローンファイラーコテ用	15Kgセット パール缶	4Kg	10Kg	1Kg	0.8~1.2Kg/m ² ×1回塗りで18.75~12.5m ²
フローンファイラーローラー用	12.5Kgセット パール缶	4Kg	7.5Kg	1Kg	0.4~0.6Kg/m ² ×1回塗りで31.2~20.8m ²

※主剤、パウダー、硬化剤はパール缶に同梱されています。

■フローンファイラー(コテ用・ローラー用)上塗り適性

	防 水 材 ※1	厚膜・中膜型 床材 ※1	薄 膜 型 床 材 ※2	
製 品 名	フローン#11 フローン01X フローン#12	フローンフルトップ フローン22 フローン50・55 フローンエポローラー※2	ソルエボ90 AUコート フローンアクアエボ フローンクイックF フローンマルチサット エボエース	ハイフローン 水性フロアー フローンアクアファースト
フローンファイラー コテ用	○	○	○	○
フローンファイラー ローラー用	○	○	○	○

※1 防水材・厚膜・中膜型床材を施工する際には、ピンホール防止の為、フローンファイラーの上に必ずフローンパウダーを混合したプライマー(プライマー：フローンパウダー=1：0.5~1)を塗布して下さい。

※2 薄膜型床材、フローンエポローラーについては、フローンファイラーコテ用塗装時のこてむらが、仕上がりに影響を及ぼしますのでご注意ください。

■可使時間と上塗可能時間

項 目	可 使 時 間	上 塗 可 能 時 間
温 度		
5℃	70分	48~72時間
23℃	50分	24~48時間
30℃	20分	12~24時間

※フローンファイラーコテ用・ローラー用共通です。
 ※上塗り可能時間は、湿度などの塗装条件により
 多少前後しますので、ご注意ください。

標準工法

	工 法 名	工程	材料名	使用量 kg/m ²	上塗可能 時 間	備 考
コ テ 用	FE-F1工法(総合塗膜厚約2mm) ②フローンプライマーH フローンパウダー 	1	フローンフィラー-コテ用	0.8~1.2	24~48	主剤:パウダー:硬化剤=4:10:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて塗布。
		2	フローンプライマーH フローンパウダー	0.15 0.15	2~24	A液:B液=1:1(重量比)の割合で計量、電動攪拌機で攪拌したプライマーHに対し、フローンパウダーを1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラーにて塗布。
		3	フローン55	1.5	—	A液:B液=8:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、金ごてにて塗布。
ロ ー ラー 用	SE-Fコーティング工法(総合塗膜厚約0.6mm) ②ソルエポ90 ③ソルエポ90 	1	フローンフィラー ローラー用	0.4~0.6	24~48	主剤:パウダー:硬化剤=4:7.5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、5%の水道水で希釈、攪拌し、塗料溜まりを作らないように、中毛ローラーにて、縦横のむらがないように塗布。
		2	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	5~24	A液:B液=5:1(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、ソルエポシンナーで30%希釈し、中毛ローラーにて塗布。
		3	ソルエポ90 ソルエポシンナー	0.15 0.05	—	

※下地に接着剤やタール、ピッチが残っている場合は、充分に除去してから施工して下さい。
※フローンフィラー-コテ用の粘度調整は、水道水10%以内の希釈でご使用下さい。
※フローンフィラー-コテ用、ローラー用の使用量は、下地の状況により異なりますのでご注意下さい。

ご使用方法

- 1.パール缶のフタを開け、主剤、硬化剤、パウダーを取り出して下さい。
- 2.主剤と硬化剤を混合、攪拌後、電動攪拌機で攪拌しながらパウダーを混合、2分間充分に攪拌して下さい。

施工上のご注意

1.下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に除去し、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また、新設コンクリート・モルタル面の表面には、レタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ずワイヤー付きポリッシャー等でレタンス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。

2.コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。

3.コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットしてフローンエポパテなどを充填し、亀裂面が平滑になるようにして下さい。

4.フローンフィラー-コテ用および、ローラー用は、3成分反応硬化型ですから、可使用時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄の無いように材料を配合して下さい。

5.ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。

6.気温5℃以下、湿度80%以上では施工しないで下さい。
硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく左右されます。

10℃以下 硬化後退 (カブリ、シワ、軟化等発生)	15~25℃ 最 適	30℃以上 硬化促進 (ポットライフ短縮)
---------------------------------	---------------	-----------------------------

7.常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。

8.施工時は引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分に換気し、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。

9.直接皮膚に触れないように充分にご注意下さい。もし触れた場合は、ウエス等で充分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。

10.材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願いします。

11.動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時、施工後の換気を充分に行ってください。

12.容器、使い残しの塗料を廃棄する場合は許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約して処理して下さい。

引火性あり	警 告	感作性あり	有害性あり
	1.引火性の液体である。 2.健康に有害な物質を含有している。 3.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 4.蒸気を吸入することにより喘息様症状を起こすことがある。		
業 務 用	《注意事項》1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の異質体質、皮膚過敏症や呼吸器官系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 ※SDSは弊社HPIにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。		

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社

本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼 玉 工 場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063